

# 12

## 阿蘇の草原キッズになろう！ 秋編・野焼き編



- 実施主体 国立阿蘇青少年交流の家
- 実施場所 秋編：阿蘇青少年交流の家及び町古閑牧野・小堀牧野  
野焼き編：阿蘇青少年交流の家及び町古閑牧野
- 実施期間 令和元年10月4日～令和2年2月21日



### <背景・ねらい>

阿蘇郡市内の小学生を対象に、阿蘇の草原維持活動体験や草原環境学習を行うことで、草原環境の現状と課題を理解させるだけでなく、草原環境の保全・再生という地域課題の解決に取り組もうとする意欲の向上を図る。

国立阿蘇青少年交流の家主体の下、地元牧野組合、草原環境学習小委員会等の各種団体と協働で実施することにより、効果的な草原環境学習のあり方を検証する。

### ■実施概要

#### 【秋編】

- 対象（実施日）：一の宮小学校4年生59人（R1.10.4、10.5）
- 内容：1日目草原フィールドワーク、草泊まりづくり体験、あか牛のエサづくり体験、2日目あか牛とのふれあい体験（エサやり、メッセージ書き）

#### 【野焼き編】

- 対象：
  - ・一の宮小学校4年生59人（R2.1.16、2.10）
  - ・阿蘇小学校5年生49人（R2.2.18） ※事前学習のみ。野焼き体験は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止
  - ・高森中央小学校4年生43人（R2.1.22、2.21）
  - ・高森東学園義務教育学校4年生4人（R2.1.22、2.21）
- 内容：事前学習（野焼きについての学習と注意点、火消し棒づくり）、野焼き体験（松明づくり、火入れ・火消し体験）



草原フィールドワーク



あか牛とのふれあい体験

### ■実施体制

- ・草原環境学習小委員会、阿蘇グリーンストック
- ・市原啓吉氏（町古閑牧野組合長）、田島今朝信氏（小堀牧野組合長）

### ■成 果

- ・参加者数【秋編】1校59人、【野焼き編】4校155人
- ・各関係団体と連携し、講師としてそれぞれの分野から詳しくわかりやすく説明をしていただき、充実した草原学習をすることができた。
- ・野焼きにおける安全指導を行い、服装についての資料を配布した。綿製の耐火服を児童数分貸し出し、安全な服装で体験をすることができた。また、保護者にも安全管理についての資料を配布し、野焼きにおける安全管理態勢を示した。
- ・市原氏に加え釜崎氏にも火入れ指導を依頼した。二手に分かれて進めたことでタイムスケジュール内に収まる活動ができた。
- ・参加者の感想から、体験を中心とした学習プログラムにしたことで、日常生活ではできない体験を通して、充実した活動ができたことがわかった。阿蘇の草原についての理解を深め、次世代の阿蘇の草原保全の担い手になるのだという自覚と意欲をもたせることができた。
- ・野焼き体験の様子が熊本県の民放テレビ局全ての番組（ニュース）に報道され、草原維持活動への取り組みを広めることができた。



野焼き体験

### ■実施者の感想

- ・令和2年度も本事業を継続させるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため野焼き体験が実施できなかった阿蘇小学校に対しても、5・6年生合同実施ができるよう計画を進めていきたい。